

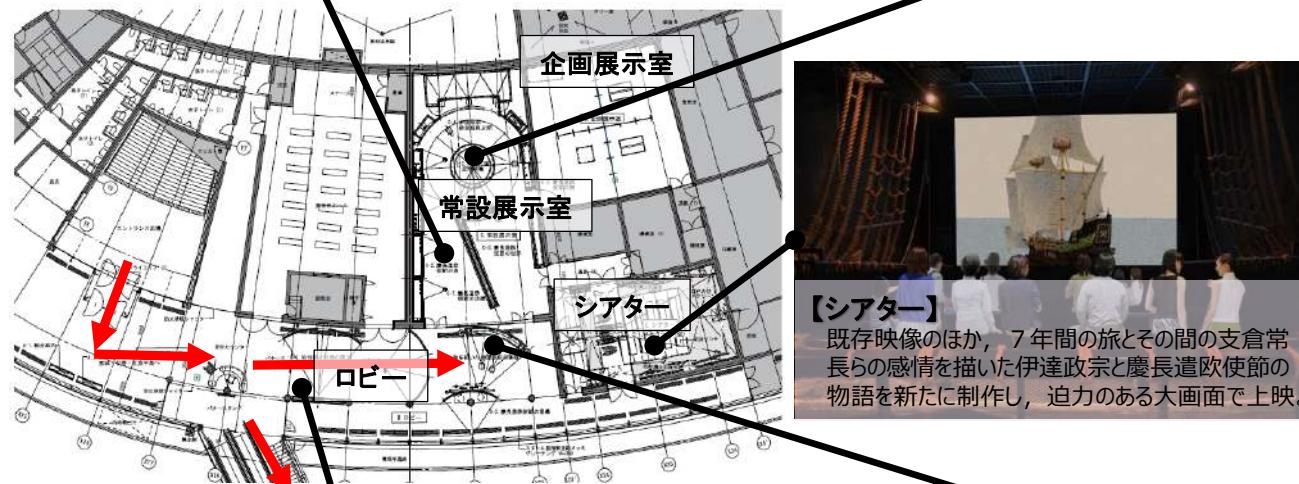
宮城県慶長使節船ミュージアムの展示等リニューアル計画について

1 事業スケジュール

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
(1) 復元船の解体等	解体設計	解体工事	-	-
(2) 後継船の製作	基本設計	実施設計	後継船製作	
(3) 展望棟の改修・展示製作	基本設計	実施設計	建築設備工事 展示製作	
(4) ドック棟の改修・展示製作	基本設計	実施設計	土木(護岸・外構), 建築設備工事 展示製作	

令和6年度中
リニューアル
オープン

3 展望棟の展示イメージ



2 基本設計からの主な変更点

- ★様々な視点から慶長遣欧使節を解説
慶長遣欧使節の足跡を辿るだけでなく、当時の世界情勢や宗教分布などを同時にわかりやすく紹介することで、使節側の視点のみならず、世界から見た使節の位置付けなど、多角的な視点から学ぶことができる展示とする。また、企画展示室を、フレキシブルな空間とすることで、様々なテーマの企画展を開催できるようにする。
- ★ドック棟東ウイングの全面屋内化
ドック棟ウイングは、半屋外を基本とし一部のみ屋内化することとしていたが、展示品の保護や来館者へのホスピタリティを考慮し、天候の影響を受けずに展示を展開できるように、東ウイングを全面屋内化。一方、西ウイングは後継船を配置する広場との一体性を持たせた半屋外の空間とする。
- ★復元船を体感できる展示の充実
原寸大のサン・ファン・パウティスタ号をより体感できるよう、屋外広場に原寸大のメインマストを一体的に展示。また、在りし日の帆を張った姿をAR(拡張現実)技術により再現。

4 ドック棟の展示イメージ

